

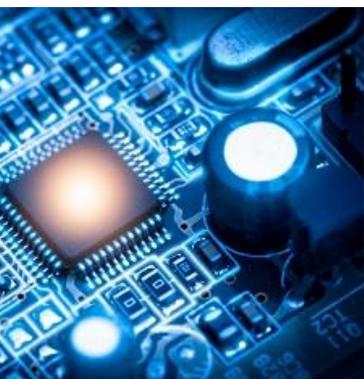
野村IR資産運用フェア2025

(東証プライム：8098)

グローバルに複合展開する商社

 **稲畑産業株式会社**

2025年1月9日



1. 稲畑産業の紹介
2. 事業について
3. 経営計画と業績
4. 株主還元・株主優待
5. 株主様数の推移
6. 株価の推移
7. ウェブサイト
8. 統合報告書、当社記事

■ 歴史

創業1890年、京都で創業
合成染料の輸入販売でスタートし、
化学分野で事業を拡大



稲畑染料店（京都・西陣）



創業者
稲畑 勝太郎

■ 化学系商社

従業員数：748人【連結4,631人】

資本金：93億6千4百万円（2024年3月末現在）

本社：大阪市中央区南船場

東京都中央区日本橋室町



代表取締役社長
稲畑 勝太郎

■ 経営理念

「愛」「敬」の精神に基づき、
人を尊重し、社会の発展に貢献する



「人を愛し敬う」

創業者 稲畑 勝太郎による「愛敬」の書（1948年）

ロゴの「IK」は創業者のイニシャルであり、同時に社是である「愛」「敬」を表現。
100年以上にわたりシンボルとして使用しています。

■ 強み 「歴史・顧客基盤・人的資本」

歴史と顧客基盤：

130年以上の業歴を通じて、約10,000社におよぶ強固な顧客基盤を構築

顧客密着型の営業体制：

商社として、高い専門性とグローバルな情報網を有し、顧客の海外展開ニーズなどに対してタイムリーでキメ細かい対応が可能

■ 海外展開 「海外拠点は約70拠点」

海外19カ国

アジアが中心（約60拠点）

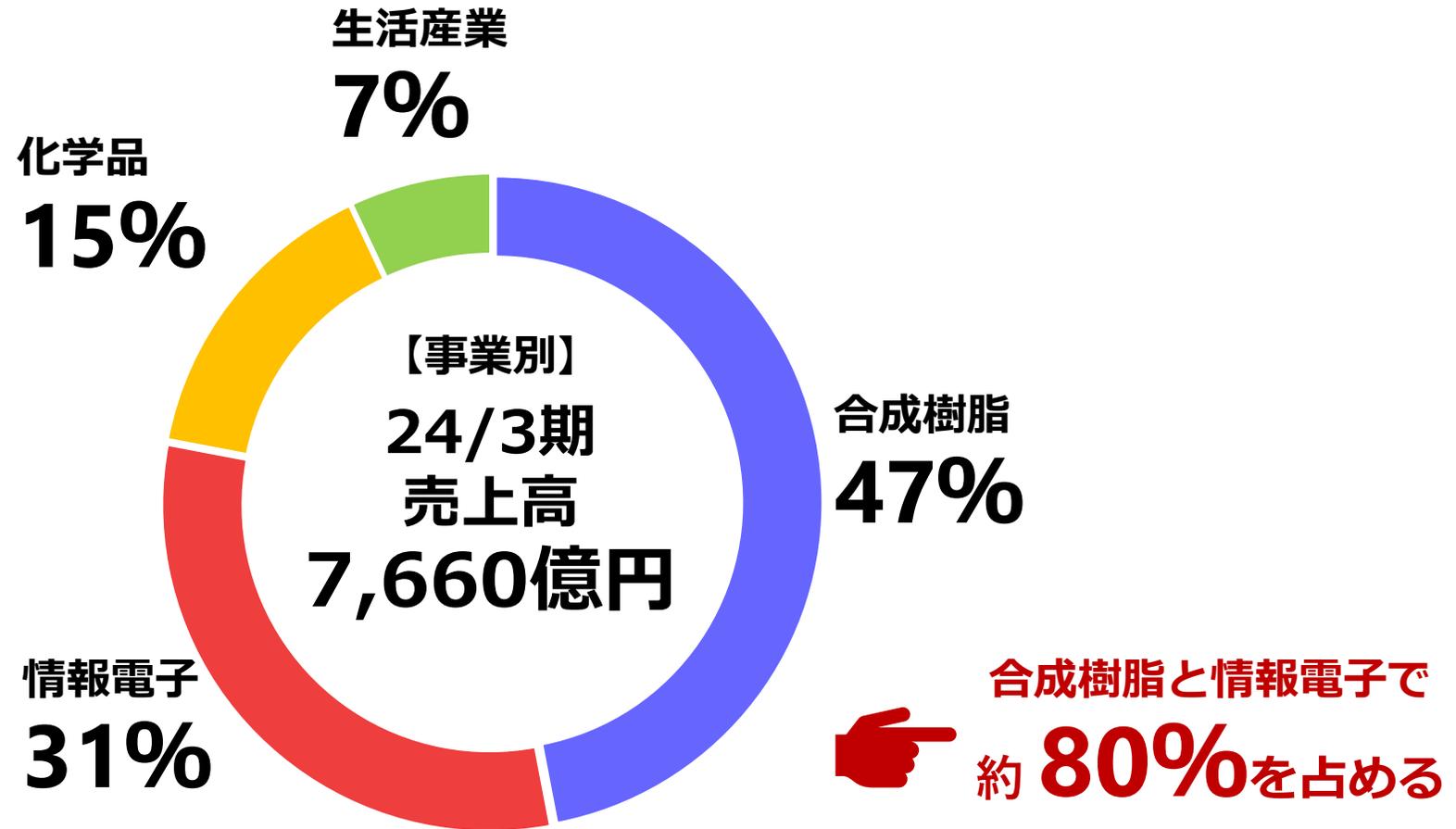
商社部門で働く海外のナショナルスタッフ 876名

（2024年3月末現在）



【稲畑社長と稲畑ベトナムのスタッフ】

■ 化学を源流とする 4事業分野

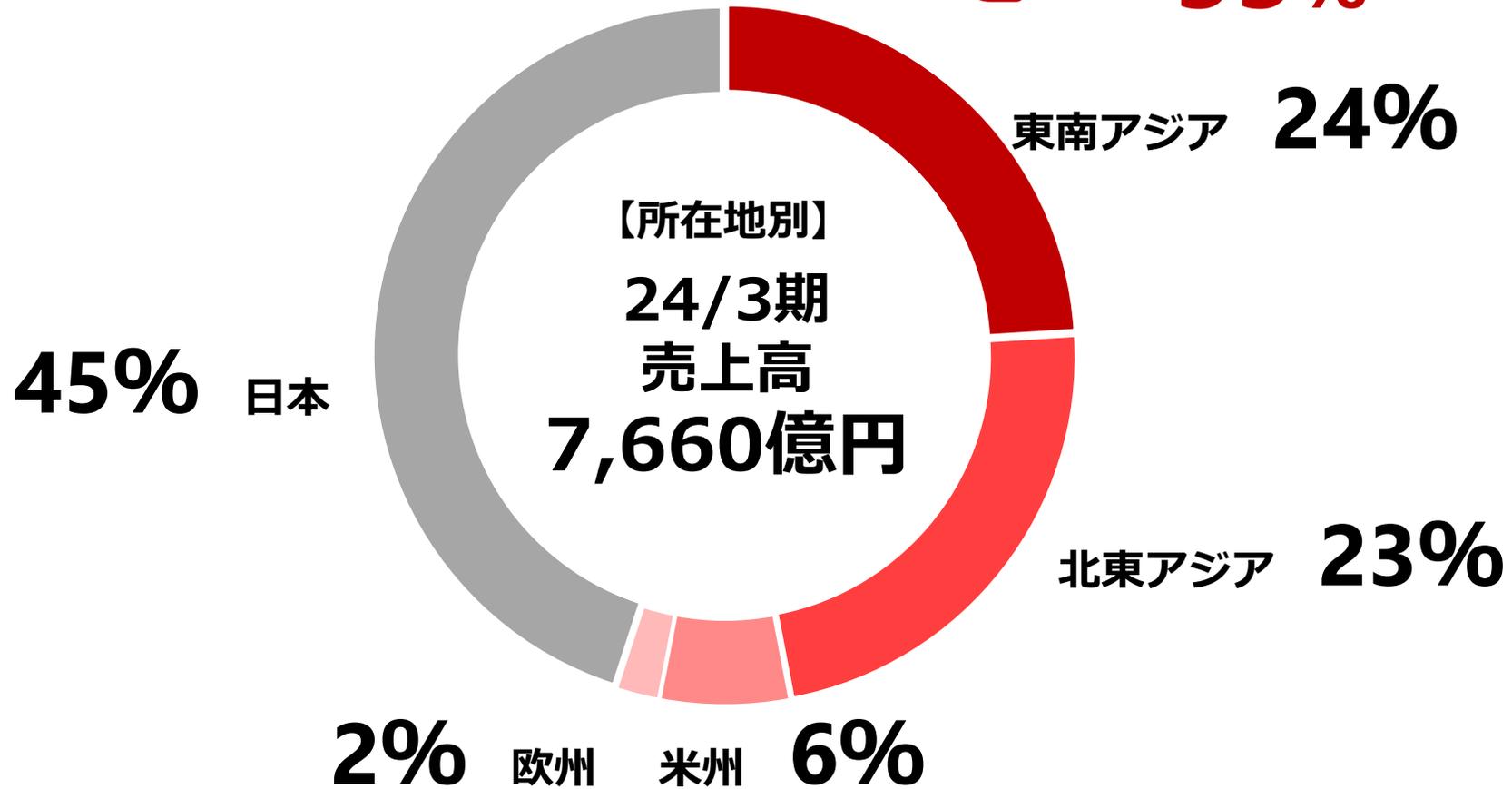


■ 海外展開はアジアが中心

海外比率

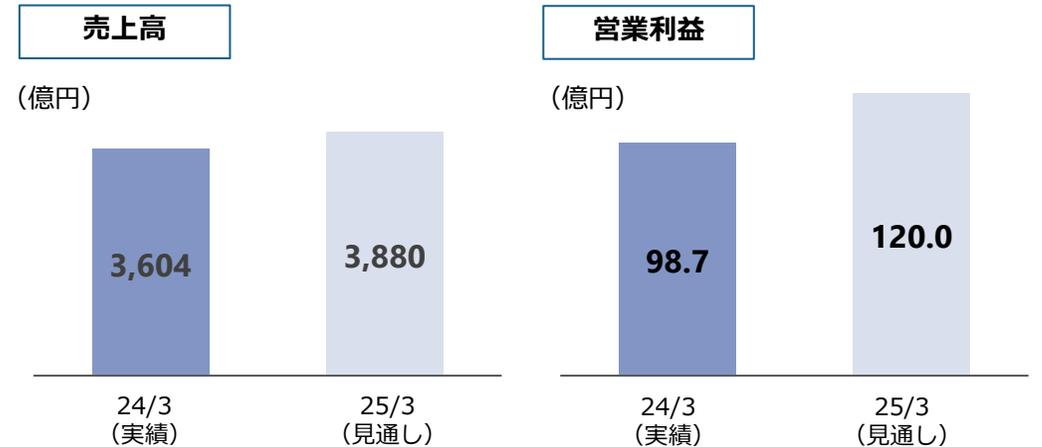
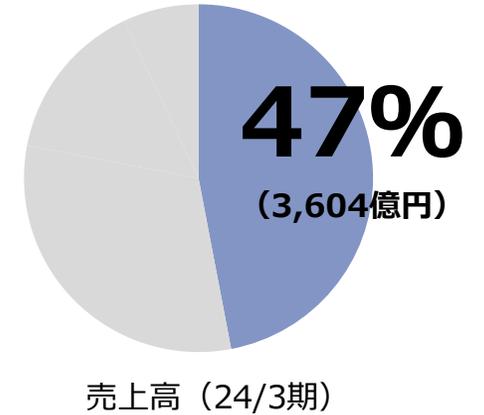


55%



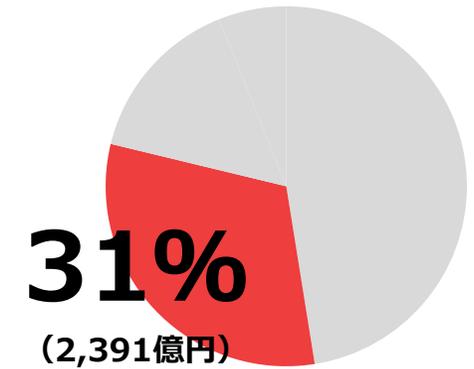
■ 合成樹脂（プラスチック）は、生活の様々な場面で使われる リサイクル原料ビジネスにも注力

- ・自動車、OA機器、家電向けの高機能樹脂
- ・日用品、建築部材、医療用の合成樹脂
- ・ゴミ袋やレジ袋、食品の包装パックなど
- ・テニスラケットのグリップテープ

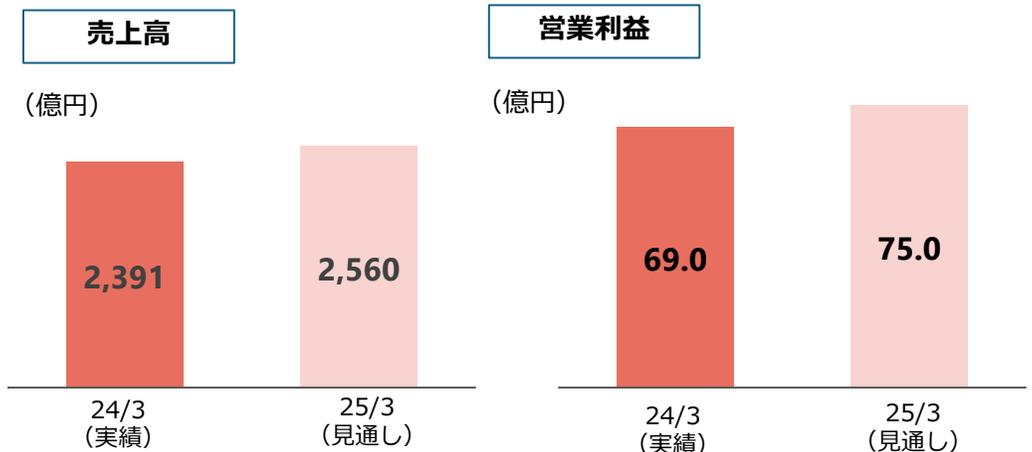


■ 液晶・有機ELディスプレイ関連を主力として、電池を含む再生可能エネルギー関連に注力

- TVやスマートフォンなど
液晶・有機ELディスプレイの材料・原料
- プリンター、複写機向け
インクジェット染料、トナー原料
- リチウムイオン電池材料、太陽電池材料
バイオマス発電関連
- LED、半導体材料など

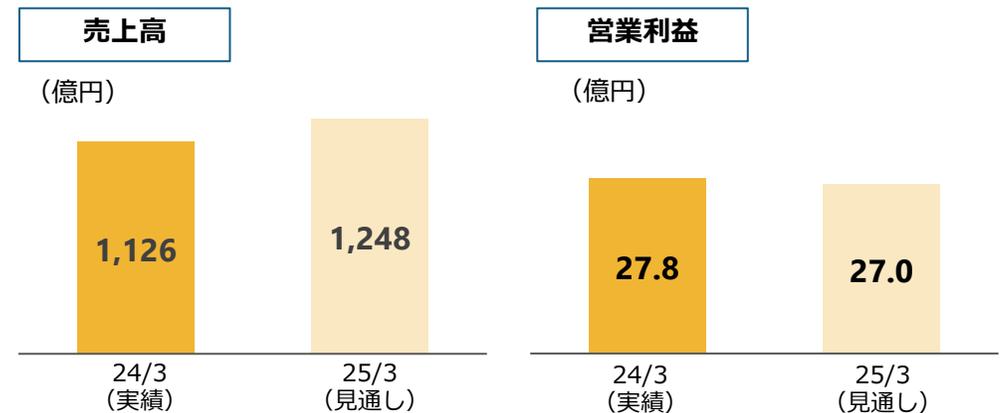
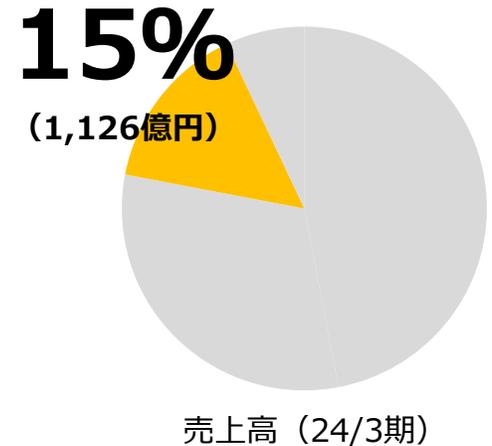


売上高 (24/3期)



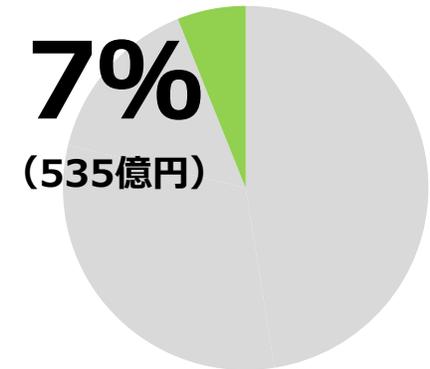
■ 化学品原料や住宅建材などを販売

- 樹脂、ゴム、繊維、塗料、インキ、
接着剤、製紙用などの原料や添加剤を販売
- 輸入・国産木材、床、キッチン、
リサイクル商品の取り扱い
(廃材利用の「パーティクルボード」)



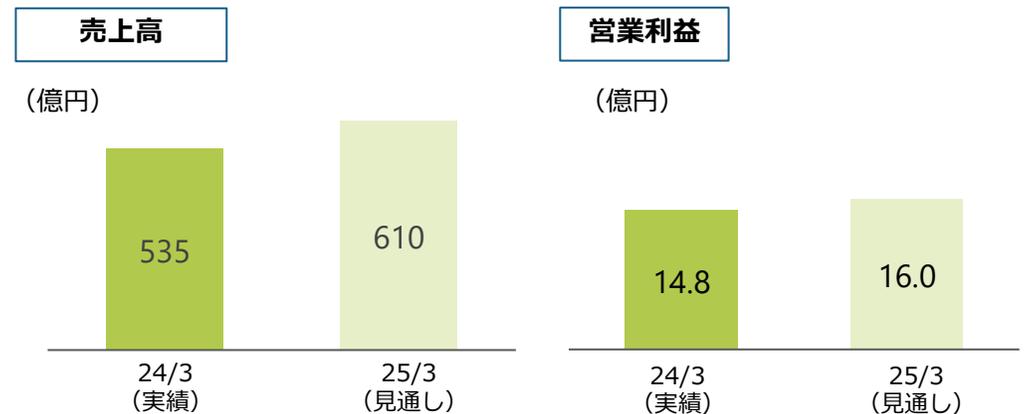
■ 医薬中間体や家庭用品分野向け原料、食品など

- ・ 医薬中間体
- ・ 防虫・殺虫剤、芳香・消臭剤、化粧品などの原料



売上高 (24/3期)

- ・ 水産物
- ・ 農産物
(ブルーベリー、国産冷凍野菜など)



3カ年の中期経営計画

■ 「New Challenge 2026 (NC2026)」 定量目標

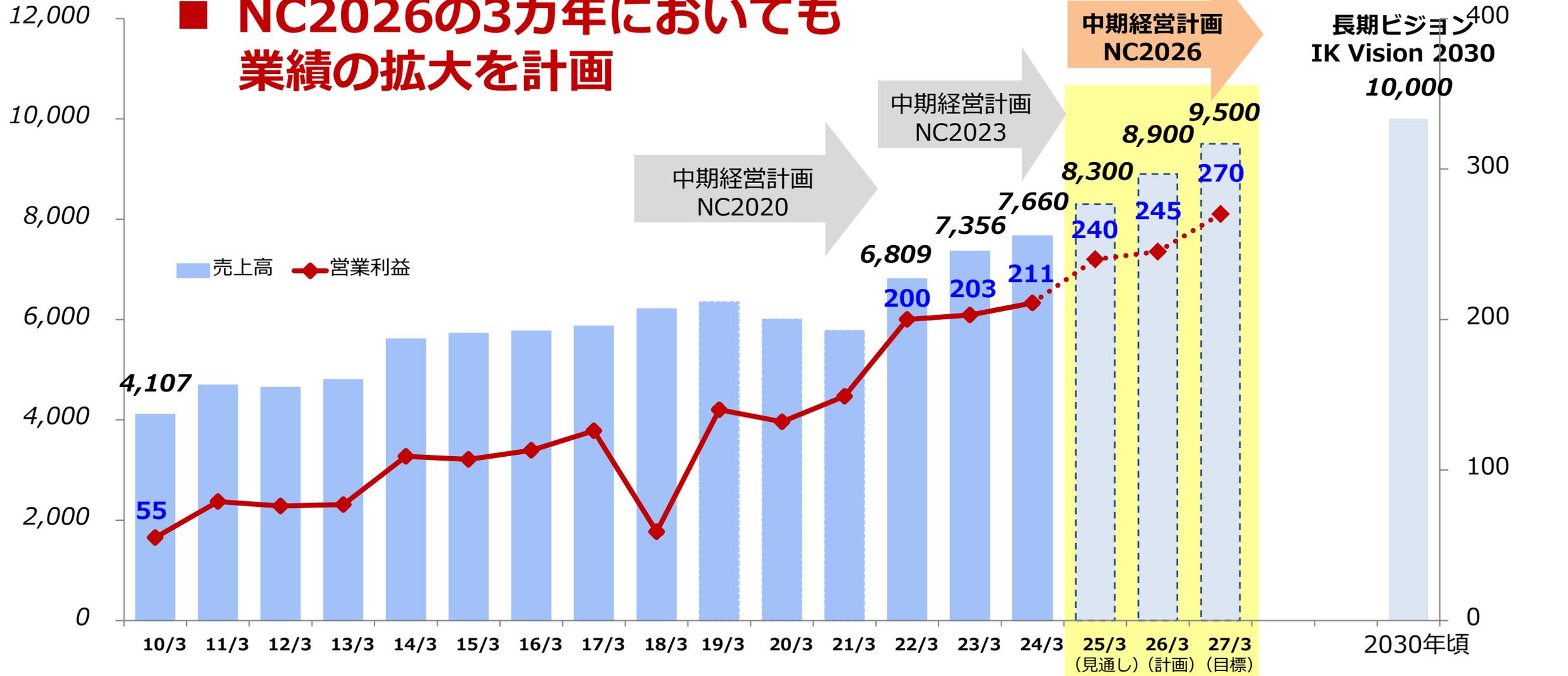
定量目標	NC2026 最終年度 2027/3期
売上高	9,500億円
営業利益	270億円
経常利益	260億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	190億円
ROE	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.5倍以下
自己資本比率	概ね50%前後
為替レート	USD1=145.00円

3. 経営計画と業績【業績推移とNC2026計画】



(売上高：億円)

■ NC2026の3カ年においても業績の拡大を計画



(利益：億円)

長期ビジョン
IK Vision 2030

■ 主な注力分野

- 再生可能エネルギーやリサイクル関連など**環境関連ビジネス**
- グローバルで**自動車向けの樹脂販売の拡大**
- **食品関連の川上・川下領域（加工等）の強化**



太陽光発電パネル



回転すしチェーン向け水産加工品

■ 売上高・利益共に好調に進捗 通期では売上高・営業利益・経常利益は過去最高となる見通し

◆2025年3月期第2四半期業績

	2025年3月期 2Q実績 (A)	2025年3月期 修正見通し (B)	進捗率 (A)/(B)%
売上高	4,216億円	8,300億円	51%
営業利益	138億円	240億円	58%
経常利益	139億円	240億円	58%
親会社株主に帰属する 当期純利益	115億円	200億円	58%
自己資本比率	46.5%	—	
為替レート	USD1=152.78円	USD1=145円	

中期経営計画NC2026の期間中、

■累進配当

一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本とする。

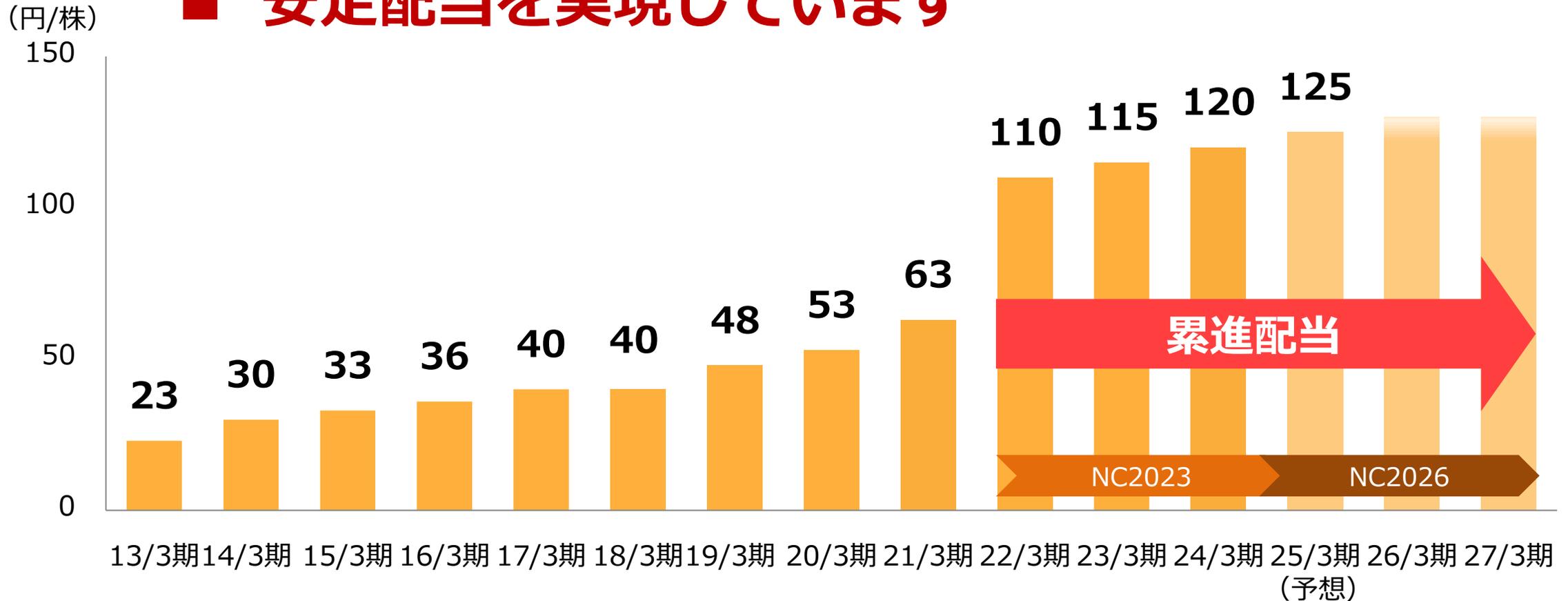
■総還元性向の目安としては概ね50%程度

【2025年3月期】

1株当たり配当額 125円【中間60円（実績）、期末65円（予想）】

※総還元性向(%) = (配当金額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益 × 100

■ 安定配当を実現しています



ご参考：2025年3月期予想配当利回り

3.8%

■ 株主優待制度：オリジナルQUOカードを贈呈

保有株式数と
継続保有期間
により優遇



権利確定月：9月末日

継続保有期間	保有株式数		
	100株以上 200株未満	200株以上 300株未満	300株以上
6か月未満	500円分	500円分	500円分
6か月以上3年未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
3年以上	2,000円分	3,000円分	5,000円分

(ご参考) 100株 投資した場合...

3年以上：配当利回り 3.8 % + 優待利回り 0.6 % = 4.4%/年

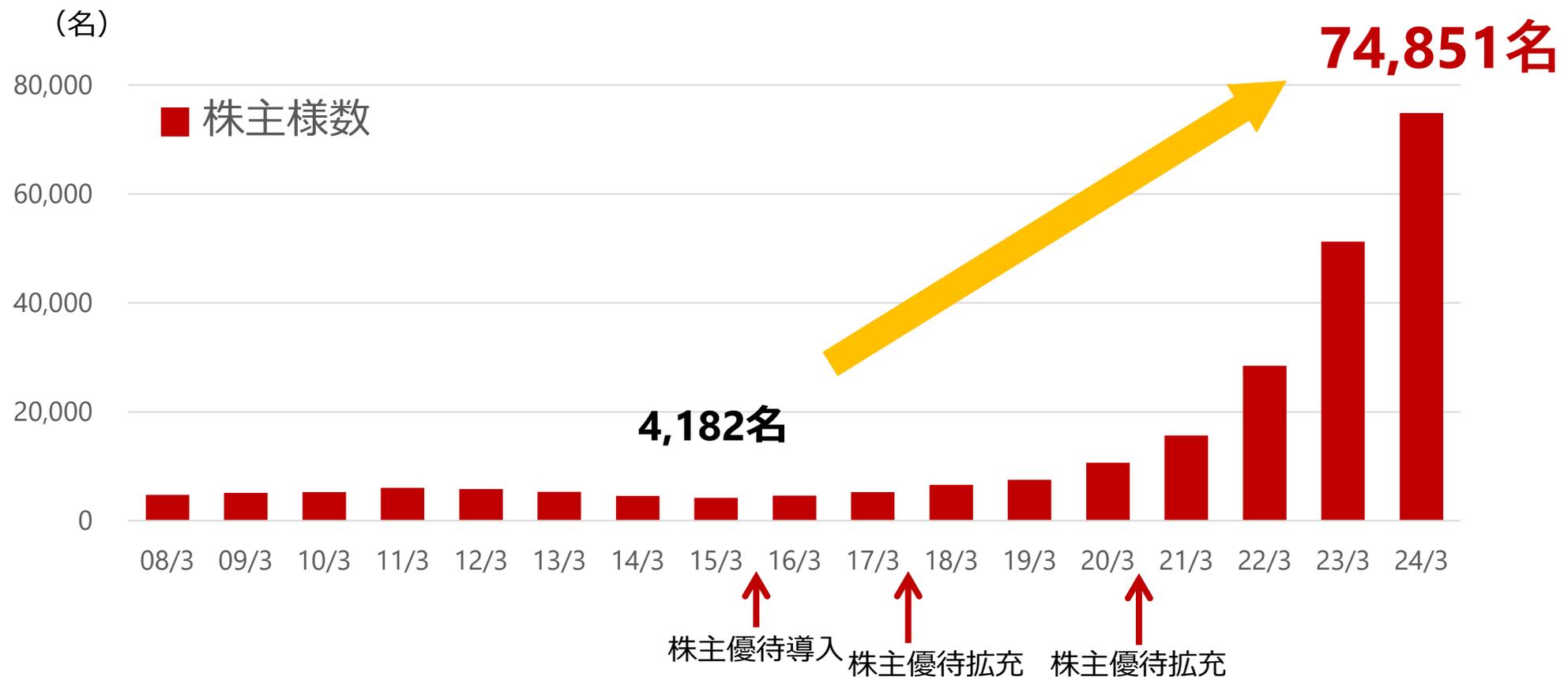
予想配当125円・2024年12月13日終値3,305円で算出



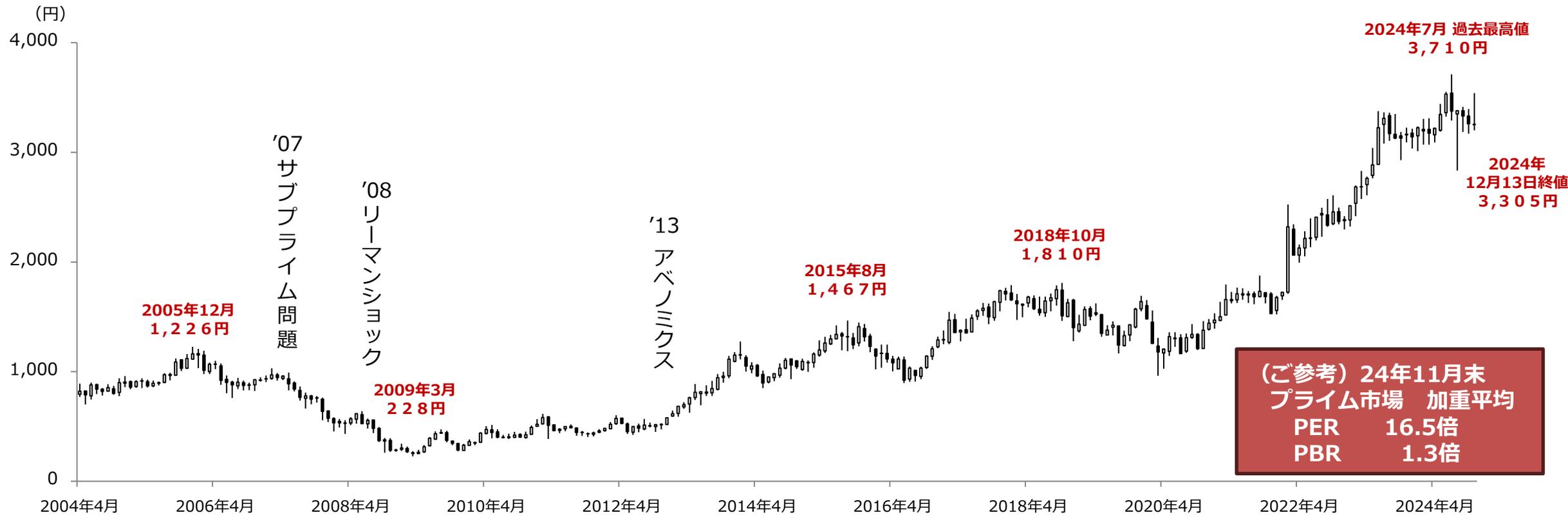
WEBはこちら

5. 株主様数の推移

おかげさまで、**多くの個人投資家の皆さま**
からご支援をいただいております
誠にありがとうございます



6. 株価の推移



連結経営指標	2024年12月13日 株価（終値）	1株当たり当期純利益 (EPS)	株価収益率 (PER)	1株当たり 純資産額（BPS）	株価純資産倍率 (PBR)	自己資本比率
25/3期 (予想)	3,305円	366.94円	9.0倍	3,624.01円	0.91倍	46.8%

※ PER（株価収益率） = 株価 ÷ 1株当たり利益(EPS)
 ※ PBR（株価純資産倍率） = 株価 ÷ 1株当たり純資産(BPS)

※PER・PBRは2024年12月13日株価（終値）から算出しております。
 ※BPS、自己資本比率は2024年3月末の実績値です。

稲畑産業のより詳しい情報は、**当社ウェブサイト** をご覧ください。

当社サイト



株主還元・配当



株主優待



中期経営計画



企業理解コンテンツ

IKものがたり



今から130年余り前、
明治時代に創業者
稲畑 勝太郎が
どのような経緯で
当社を創業するに
至ったのか、
皆さまにできるだけ
分かりやすく伝えたい
という思いから、
漫画化を企画しました。

第7話まで公開中！

当社をご理解いただくためのコンテンツをご用意しています。

統合報告書2024




第1章 成長戦略 トップメッセージ

長期ビジョンの実現に向けてM&Aなどの投資の積極化を図りさらに企業価値を高めていきます。

代表取締役社長 稲畑 勝太郎

初めて大切にしたいこと
相手を理解する努力を重ねて、信頼関係の土台を築きたい

新型コロナウイルスの感染拡大による影響が5期に移行した2023年の春頃から人の流れが戻り、対面でのコミュニケーションも増えました。この頃から、「今の時代に合ったコミュニケーション」について考えさせられる機会が多くなりました。昨今の企業組織では、ハラメントへの意識が高まっているせいか、部下と接する上り・管理職は楽観してしまっているように感じます。もちろん本人が自己同一意識を持っている方が、正しい情報や正しい価値を伝えることは大切ですが、ただ、こうした局面ですべての人に当てはまるようなコミュニケーションスタイルは存在しません。後述する個別の立場や職責によって異なるし、伝える相手によっても異なります。つまり、相手をよく理解してから発信しないと、信頼・理解の醸成が正しく伝わらないこともあります。

また、お客様や取引先企業との継続レベルの会話で得られる情報も、販売をすすめるうえでも大切だと考えています。仕事の段階だけに終始してしまうと、やはり相互理解は深まりません。コロナ禍では停滯していた“継続を促したコミュニケーション”を復活させ、相手を知る努力を重ねることで信頼関係の土台を固めていけると思います。

こうしたことを考えるなかで、2024年度からは国内で「社長懇話会」という取り組みをはじめました。この懇話会は、毎回テーマを設定し、そのテーマに深く関心のある社員を集めてもらい、社長と社員の対話の場を設けるというものです。1回につき最大15人程度を上限とし、私から何かを伝えるというよりも、「皆さんの考えを聞かせてほしい」というスタンスで臨もうと思っています。相手を知らなければ、まず相手の言葉を聴けることが必要ですが、私自身どこまで待ち切れるかどうか、失敗する場面もあるかもしれませんが、そのよう

な姿もそのまま参加者に見てもらおうと思っています。懇話会は、まずは国内拠点で実施する予定ですが、海外出張の機会を主として海外拠点での実施も進めたいと考えています。

一方、新業に挑戦してきた「愛」の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献するという経営理念は変わらぬ普遍的な内容ですから、時代を超えて通用するものだと思います。経営理念の普及・浸透活動には、これからの注力していきます。例えば、海外拠点のスタッフを日本に招いて開催している「グローバルスタッフミーティング」は好評です。また、経営と組織開発・行動指針についてアピスカッションしています。コロナ禍で4年ほど中断した研修もありましたが、2023年度には久しぶりに再開することができ、さまざまな課題から集まった現地スタッフに本社の若手も加わって活発な意見が交わられました。今後も年1回のペースで、開催を継続していく予定です。

グローバルコミュニケーション

事業推進の認識と、中期期に目指す新会社という利点・強みを生かしながら長期ビジョンの達成を目指す

長年にわたって継続していた世界的な超優良利権時代は、事実上終わりを告げたと認識しています。米国の金利引き上げについては一段落し、インフレも元元では沈

アイアールmagazine ※野村IRサイトに移動します




IRレポート [AD]

稲畑産業の成長戦略

長期ビジョン (IK Vision 2030) が目指す“ありたい姿”の実現に向けて

2024年12月13日

8098 稲畑産業

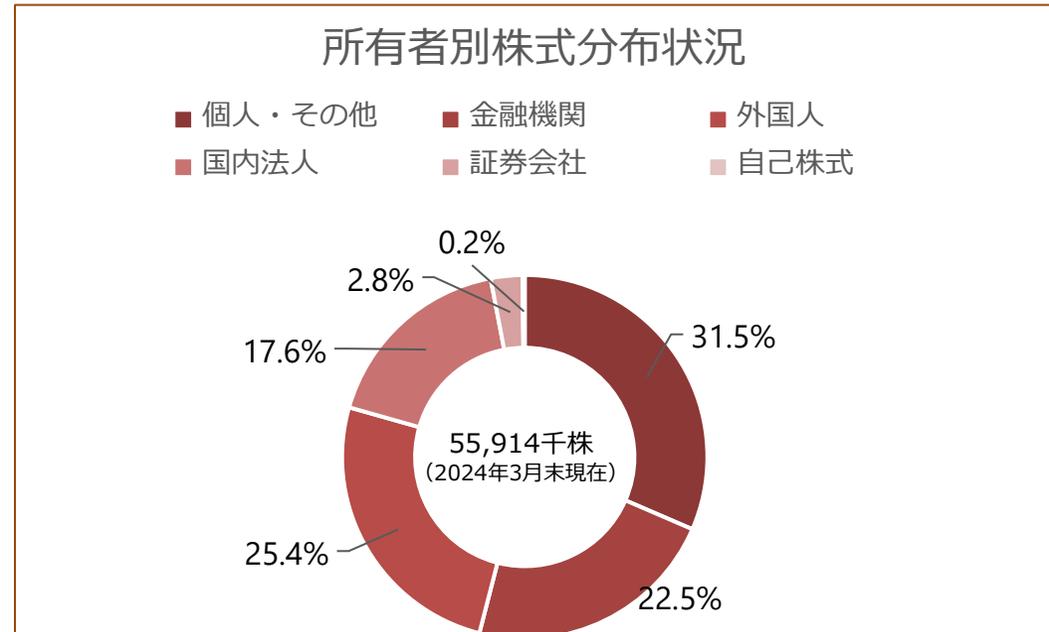
Facebook, LINE, and other social media icons

当社社長の記事が掲載されています。

会社名	稲畑産業株式会社
創業	1890年10月1日
設立	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
代表者	代表取締役 社長執行役員 稲畑 勝太郎
本社	大阪本社/ 大阪市中央区南船場一丁目15番14号 東京本社/ 東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
従業員数	748名〔連結4,631名〕
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	54,714,127株 (2024年7月17日現在)

(注) 2024年7月17日付で自己株式1,200,000株の消却を行いました。

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
上場市場	東証 プライム市場
証券コード	8098
単元株式数	100株
株主数	74,851名



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部
E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。また資料内の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。